

平成21年度第2回
 広域関東地域イノベーションパートナーシップ推進会議
 開催報告

平成21年11月24日（火）、さいたま新都心（埼玉県さいたま市）において平成21年度第2回広域関東地域イノベーションパートナーシップ推進会議を開催しました。

関東経済産業局管内で地域の特性を活かして事業を展開している12の地域プロジェクト、及び各地域をとりまとめ、管内全域で活動している広域プロジェクトの実施機関や都県等自治体、都県情報産業団体等関係機関が一堂に会し、各地域の取組状況を共有するとともに、今年度の成果イメージや中期的スケジュールを検討、共通の課題等を抽出し、地域における自律化に向けて意見交換を行いました。

[日 時] 平成21年11月24日（火）14：30～17：30
 [場 所] さいたま新都心合同庁舎1号館（埼玉県さいたま市中央区）
 [出席者] 地域プロジェクト実施機関（※）及び地域ワーキンググループ（地域WG）関係者
 広域プロジェクト実施機関（※）
 管内都県商工担当部署、管内都県情報産業団体
 関東経済産業局地域経済部長、情報政策課長 計60名

[概 要] ◆第1回会議の概要整理、及び、各地域の取組状況について

- ・ ユーザ向け：大学の学生が中小企業のHPを作成するHP作成産学連携支援（静岡県西部地域）、中小ホテル・旅館等観光業を対象とした個別相談（長野県地域）等
- ・ ベンダ向け：プレゼンテーションスキル習得（茨城県地域）、Ruby研修（東京多摩地域）、WEBベンダ認定（神奈川県三浦半島地域）等
- ・ マッチング：ユーザとベンダが参加する研究会形式によるマッチング支援（新潟県地域）等
 各事業について地域の特徴的な事業を紹介、意見交換。

◆マッチングにおける現状課題・今後の方向性、及び、各地域における共通課題、中期的スケジュールについて

- 地域ITベンダの多様性やユーザの現状等マッチングの課題、マッチング仲介機能の必要性、全国ITベンダ情報データベース（全国DB）の活用等を説明、意見交換。
- 各地域に共通する課題（地域WGの機能向上等）、新たに立ち上げた地域特有の課題（セミナーの集客アップ等）、将来的に顕在化することが想定される課題（地域の取組みにおける全国DBの有効活用等）とそれぞれの課題に対する解決の糸口
- ・ 地域における自律化に向けた中期的スケジュール（体制・事業・成果等を立ち上げ期→根付き期→発展期→自律化のための助走期へといかにつないでいくか）について、第3回推進会議（来年3月頃開催予定）に向けて検討の方向性を提示し、情報・意識を共有。

（※）平成21年度プロジェクト実施機関：別紙資料参照

（以上）



挨拶：
 関東経済産業局
 吉澤地域経済部長



平成21年度プロジェクト実施機関

(1) 地域プロジェクト: 12件

※()内は主な活動エリア

- 株式会社いばらきIT人材開発センター (茨城県全域)
- 財団法人群馬県産業支援機構 (群馬県全域)
- 株式会社さいたまソフトウェアセンター (埼玉県全域)
- 社団法人千葉県情報サービス産業協会 (千葉県全域)
- 立川商工会議所 (東京多摩地域)
- 厚木商工会議所 (神奈川相模地域)
- 横須賀商工会議所 (神奈川三浦半島地域)
- 財団法人にいがた産業創造機構 (新潟県全域)
- 社団法人長野県情報サービス振興協会 (長野県全域)
- 財団法人やまなし産業支援機構 (山梨県全域)
- 特定非営利活動法人静岡情報産業協会 (静岡中部地域)
- 浜松商工会議所 (静岡西部地域)

参考：地域プロジェクト実施件数の変遷

- 平成19年度 5件
- 平成20年度 8件
- 平成21年度 12件

(2) 広域プロジェクト: 1件

- 特定非営利活動法人OCP総合研究所

